

六甲山縦走 鶴越から須磨浦公園

実施日：2023年11月22日（水）

天候： 晴れ

参加者： 9名 青木、川鍋、園田、田中、中原、檜崎、細田、牧野、園田

行程： 「鶴越」駅 8:38→9:27 小休止 9:31→9:40 山友登山会広場 9:47→9:59 高取神社
10:05→10:10 高取山 10:15→11:23 横尾南公園 11:32→11:55 東山 11:58→馬の背→12:42
横尾山 13:25→13:46 梅尾山 13:52→14:26 高倉山 14:42→15:00 鉄拐山 15:03→15:19
旗振山 15:23→15:30 鉢伏山 15:34→15:58 山陽電鉄「須磨浦公園」

神戸電鉄「鶴越」駅からアップダウンの多い街中を歩くこと小一時間、小休止を取り高取山の山頂に取り掛かる。少し上り山友登山会広場を経由して高取神社へ。見晴らしよし。高取山山頂を踏み、荒熊神社にも寄り下山開始。高取山から再び街に下り、結構長時間街中を歩き、東山の麓、横尾南公園で小休止。ここから東山への山頂へ。お昼前に東山山頂へ。お弁当は、須磨アルプス馬の背を越え、横尾山にてとることにし、馬の背へ下る。ヤセ尾根の馬の背を渡る。向こうから中学生の団体が下ってくる。今回のルートで一番厄介なところですれ違うことになる。鞍部で何とかすれ違う。ここからは一気に横尾山に上る。山頂でようやくお弁当タイム。

昼食後、梅尾山へ向かう。それほど遠くもなく、梅尾山に到着。展望台からはこれから向かう道筋が良く見える。一旦高倉団地まで降り、団地を通り抜け、高倉山、鉄拐山へと進むことになる。ここからの下りは階段。高倉団地を見下ろしながら階段を下る。階段の下部で左に折れ、陸橋を渡り団地に入る。団地の中でいつもは小休止を取るが、今日は小休止無しで、高倉山への直登の階段に取りつく。800段強の階段を直登することになるが、これはかなり厳しい。なんとかかんとか上り切り、休憩所で一休みし、フルーツタイムとする。

小休止後、気を取り直し、あと三つのピークにトライする。ここからはもう大きなアップダウンはなくピークを踏めるが、ここまで来るとさすがに、小さな上りも堪える。まず鉄拐山に上る。見晴らしよし。続いて旗振山、鉢伏山とピークを踏み、目標の8座を走破する。鉢伏山からはカーレータに乗って下る誘惑を振り切って、須磨浦公園まで歩いて下る。ほぼ10年前に同じルートを歩いたが、その時はそんなにハードとは感じなかったが、10年の加齢には勝てず。たいへんしんどい山歩きとなった。

水平歩行距離 12.14Km 累積上り 875m 累積下り 980m



1, 「鶴越 (ヒヨドリ越え)」 駅から街中を高取山に向かう



2, 山友登山会広場で小休止



3, 雑木林の中高取山に上る



4, 高取神社にて



5, 一座目、高取山にて全員



6, 荒熊神社にも立ち寄る



7, 高取山からの下り



8, 再び街中を東山に向けて進む



9, 東山の麓、横尾南公園で小休止



10, 東山への上り



11, 二座目、東山で全員



12, 須磨アルプスと称される、馬の背を行く



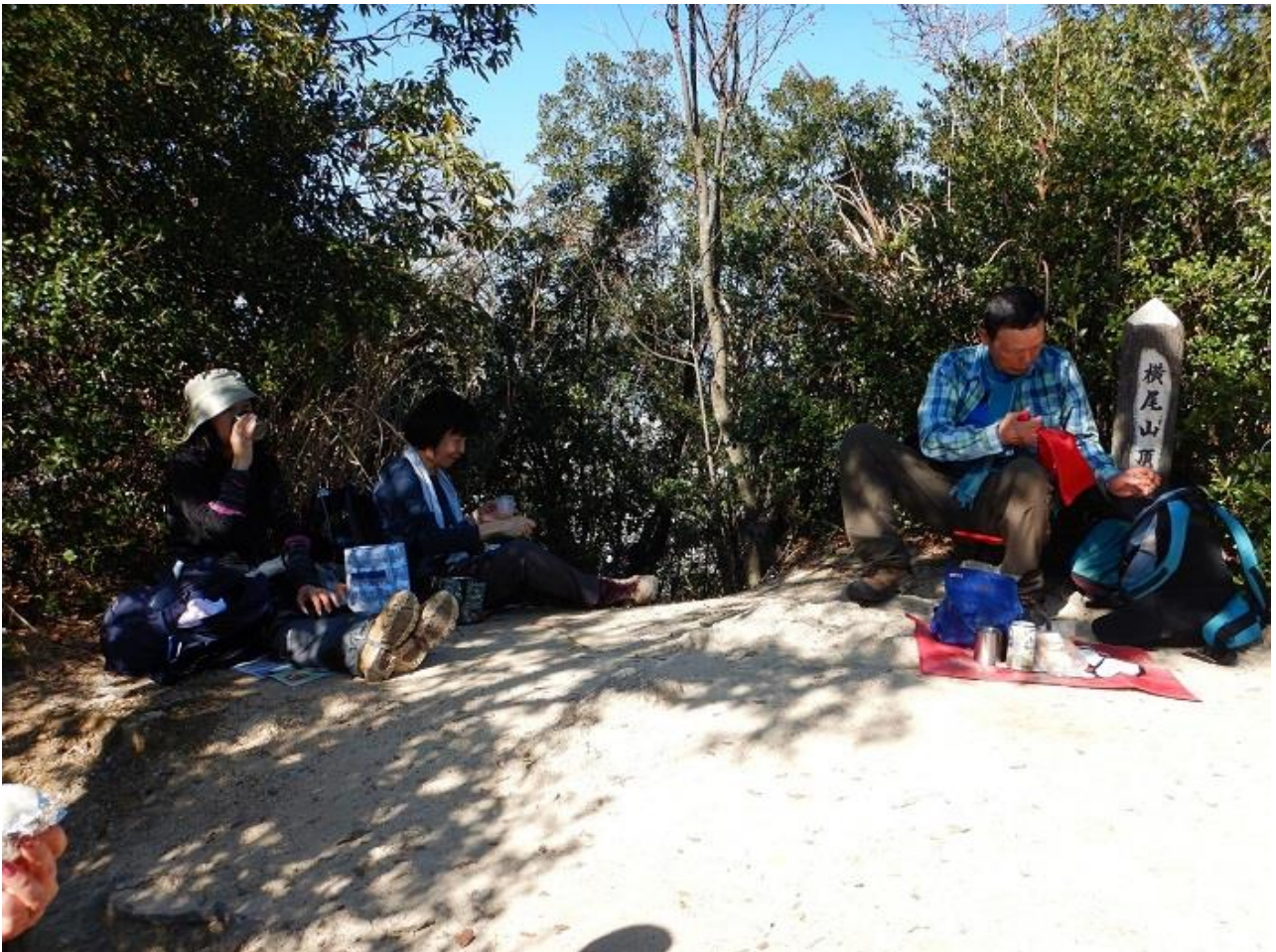
13, 馬の背を行く



14, 馬の背で全員



15, 馬の背の岩場を下る



16, 横尾山山頂で、ようやくお弁当



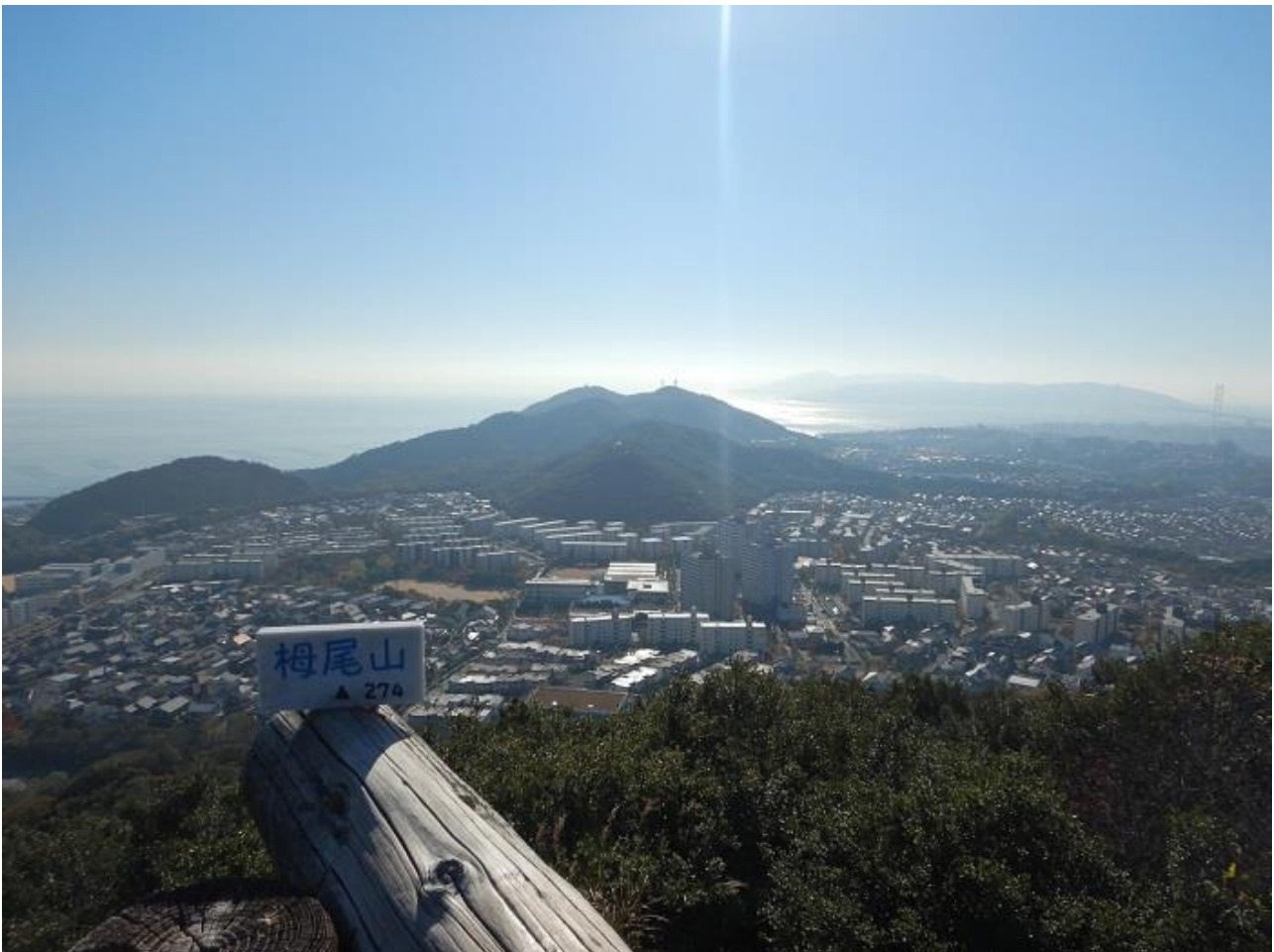
17, 三座目、横尾山山頂で全員



18, 横尾山から梅尾山に向かう



19, 四座目、梅尾山山頂展望台で全員



20, これから向かう団地の向こうの山々を見る



21, 梅尾山から階段で一気の下る



22, 800 段余りの直登の階段を上り、五座目の高倉山で全員



23, 鉄拐山への上り



24, 六座目の鉄拐山山頂で全員



25, 鉄拐山から一旦下り旗振山に向かう



26, 七座目、旗振山にて全員



27、八座目、鉢伏山にて全員 八座全ての山頂を踏む



28、鉢伏山から須磨浦公園へ下る